

2012年3月20日 京都新聞 21面

市民と結びつく拠点完成

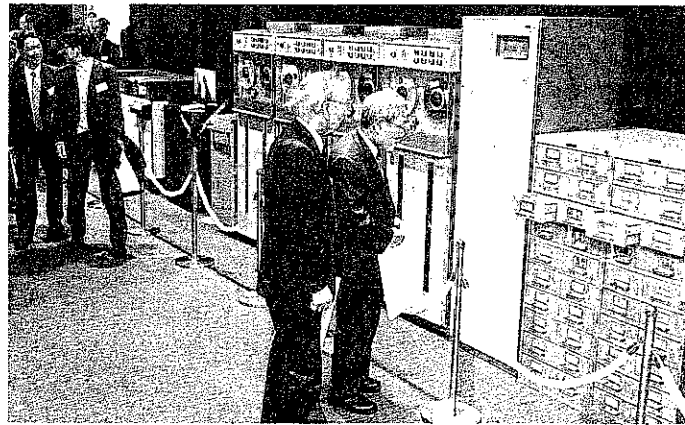
京産大で開館記念式典

京都産業大(京都市北区)の市民開放型施設「むすびわざ館」が下京区中堂寺命婦町に完成し、開館記念式典が20日、同館で開かれた。ホールやギャラリーが披露され、関係者ら約310人が新たな「知の発信拠点」として期待を寄せた。

同館は4階建ての延べ約9千平方メートル。式典では、柿野欽吾理事長が「名称通り、企業や地域の連携を目指して整いを大切にしたい」とあいさつし、中高とともに4月にオープンする。

館内には、市民も利用できるカフェや418人収容のホール、同大の所蔵品などを展示するギャラリー、教室などを備える。同大の世界問題研究所を移転させ、地域の活性化などに携わる人材を育成する一般財団法人「地域公共人材開発機構」の本部事務所も設けられる。

(高橋道長)



開学2年後に設置された大型コンピューターも館内に常設展示され、関係者らが見学した(京都市下京区・京都産業大「むすびわざ館」)―撮影・船越正宏